トップニュース

新しい「領解文」示される

ご門主が「ご消息」

御正忌報恩講法要ご満座で

「さまざまな機会で拝読、唱和」を

ご門主は1月16日、御正忌報恩講法要ご満座に続いて御影堂で「ご消息」を発布され、み教えの肝要が広く、また次の世代に伝わることを願われて、新しい「領解文」（浄土真宗のみ教え）を示された（写真）。

（2、3面に続く）

新しい「領解文」（浄土真宗のみ教え）についての消息

本年三月には、「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」という記念すべきご勝縁をお迎えいたします。このたびの慶讃法要は、親鸞聖人の立教開宗のご恩に深く感謝し、同じお念仏の道を歩む者同士が、あらためて同信の喜びを分かち合うためのご法要です。また、これを機縁として、特に若い人やこれまで仏教や浄土真宗に親しみのなかった人など、一人でも多くの方々に浄土真宗とのご縁を結んでいただきたいと思います。

伝道教団を標榜する私たちにとって、真実信心を正しくわかりやすく伝えることが大切であることは申すまでもありませんが、そのためには時代状況や人々の意識に応じた伝道方法を工夫し、伝わるものにしていかなければなりません。このような願いをこめ、令和三年・二〇二一年の立教開宗記念法要において、親鸞聖人の生き方に学び、次の世代の方々にご法義がわかりやすく伝わるよう、その肝要を「浄土真宗のみ教え」として示し、ともに唱和していただきたい旨を申し述べました。

浄土真宗では蓮如上人の時代から、自身のご法義の受け止めを表出するために『領解文』が用いられてきました。そこには「信心正因・称名報恩」などご法義の肝要が、当時の一般の人々にも理解できるよう簡潔に、また平易な言葉で記されており、領解出言の果たす役割は、今日でも決して小さくありません。

しかしながら、時代の推移とともに、『領解文』の理解における平易さという面が、徐々に希薄になってきたことも否めません。したがって、これから先、この『領解文』の精神を受け継ぎつつ、念仏者として領解すべきことを正しく、わかりやすい言葉で表現し、またこれを拝読、唱和することでご法義の肝要が正確に伝わるような、いわゆる現代版の「領解文」というべきものが必要になってきます。そこでこのたび、「浄土真宗のみ教え」に師徳への感謝の念を加え、ここに新しい「領解文」（浄土真宗のみ教え）として示します。

南無阿弥陀仏
「われにまかせよ　そのまま救う」の　弥陀のよび声
私の煩悩と仏のさとりは　本来一つゆえ
「そのまま救う」が　弥陀のよび声
ありがとう　といただいて
この愚身をまかす　このままで
救い取られる　自然の浄土
仏恩報謝の　お念仏

これもひとえに
宗祖親鸞聖人と
法灯を伝承された　歴代宗主の
尊いお導きに　よるものです

み教えを依りどころに生きる者　となり
少しずつ　執われの心を　離れます
生かされていることに　感謝して
むさぼり　いかりに　流されず
穏やかな顔と　優しい言葉
喜びも　悲しみも　分かち合い
日々に　精一杯　つとめます

この新しい「領解文」（浄土真宗のみ教え）を僧俗を問わず多くの方々に、さまざまな機会で拝読、唱和いただき、み教えの肝要が広く、また次の世代に確実に伝わることを切に願っております。

令和五年
二〇二三年　一月十六日

龍谷門主　釋専如

本願寺新報
hongwanji journal

2月1日（水曜日）

毎月1日・10日・20日発行

発行所　本願寺新報社
京都市下京区堀川通花屋町下ル　浄土真宗本願寺派（西本願寺）
〒600-8501　本願寺出版社内
電話 075(371)4171(代) ／ FAX075(341)7753

くるまのことなら　株式会社 平安オート
国産車・輸入車の販売・買取、車検、鈑金、塗装、保険代理店
■自動車販売・買取については 販売センター TEL:075-661-2572
■車検・修理については フロント・整備工場 TEL:075-661-0750

私たちのちかい

一、自分の殻に閉じこもることなく
穏やかな顔と優しい言葉を大切にします
一、むさぼり、いかり、おろかさに流されず
しなやかな心と振る舞いを心がけます
一、自分だけを大事にすることなく
人と喜びや悲しみを分かち合います
一、生かされていることに気づき
日々に精一杯つとめます
人びとの救いに尽くす仏さまのように

赤光白光

人間は強いところ、すぐれたところを見せたがるものだ。反対に弱く、劣ったところは知られたくない。ところが、弱いところ、本音をさらけ出すと、それを受けとる側は構えをはずして普段のままの態度で接してくれて、意外に話もはずむ。

▼私たちには、いつも自分を虚飾で装い、他よりすぐれていると思われたいという気持ちがどこかに潜む。知らず知らずに自分をよく見せようとし、見栄も尊大さも全くないということは、まず考えられない。自己中心的に生きるということは世間でよく言われることばだが、そこに集約されるように思える。

▼梅の花が咲きはじめ春の兆しがみられる。木々も春を迎えて色鮮やかになるが、冬もいい。ある俳人が、木々の葉が厳しい寒気にあたって落葉し、裸の木となり、色を失った野山となる。それは、虚飾を捨てきった風景のせいであろうかと言った。虚飾ということばにかぎりない深みを感ずることである。

▼親鸞聖人は、中国の善導大師のことば「外に賢善精進の相を現じ、内に虚仮を懐くことを得ざれ」を読みかえられ、「外に賢善精進の相を現ずることを得ざれ、内に虚仮を懐ければなり」とされた。大きな内容の転換である。どこまでも虚仮不実な身であると聖人はいただかれたのである。そうした我々が、まかせよ、かならず救うという南無阿弥陀仏のよび声を聞き、如来の願力によって救われていく。聖人ご誕生あればこそ、このみ教えに出遇えたのである。

ご縁を慶び、お念仏とともに
親鸞聖人 御誕生 850 立教開宗 800
第1期 3月29日(水)～4月3日(月)6日間
第2期 4月10日(月)～4月15日(土)6日間
第3期 4月24日(月)～4月29日(土)6日間
第4期 5月6日(土)～5月11日(木)6日間
第5期 5月16日(火)～5月21日(日)6日間

原木から製品まで、寺院仏閣のトータルプランナー
株式会社 あいぞの　株式会社 あいぞの寺社ラボ

大谷本廟様 新無量寿堂読経所御内陣納入

鹿児島別院様 慈光堂オリジナル納骨壇納入
■オリジナル納骨壇企画製作　■本堂現場漆塗・彩色工事
■本堂・納骨堂内部仏具設計施工　■寺院建築企画設計
■仏像・彫刻製作及び修復　■寺院建築修復・施工
■寺院用具一式　■寺院法規・資金計画相談
〒814-0004 福岡市早良区曙２丁目７番13号
フリーダイヤル 0120-168-940
HP:http://www.aizono.co.jp/

最新刊
自己を知り、大悲を知る
法に聞き、聖人にたずねる寺報法話30篇
海谷則之（龍谷大学名誉教授）
折々の出来事や懸命に生きる人の姿、また動植物の不思議な力やはたらきなどからいのちのありようを考える。親鸞聖人のみ跡を慕う著者70歳代の学びと思索の記録。

四六判・並製・136頁　1100円
◉目次より　アサギマダラ蝶、一五〇〇キロの旅／ともに生きる盲導犬／輸送船〝こうのとり〟との別れ／認知症八百万人の時代／介護殺人のかなしみ／土星探査機がくれた贈りもの／がんと生きた樹木希林さん／逆境にたち向かう氷上の王者／志村けんさんの死／大坂なおみ選手のやさしさ／一隅を照らす人・中村哲さん／西行法師のねがい／ほか

一縁会テレフォン法話集　一縁会 編
阿弥陀さまの〝おはからい〟
生かされ、はからわれて生きていることへの〈気づき〉と〈喜び〉を語るひと口法話30篇。
B6判・並製・112頁　880円

*価格はすべて税込　*送料・発送手数料：ご注文合計6,600円未満＝一律400円、6,600円以上＝無料
合同会社 自照社　ホームページ：https://jishosha.shop-pro.jp
【大田利生先生 書き下ろしコラム配信中!!】
滋賀県大津市日吉台4-3-7　電話：077-507-8209　FAX：077-507-9926

祝 親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年 慶讃法要
親鸞様と共にやすらぎのひとときを

F7010 松若丸人形
人形サイズ：巾9cm× 高さ8cm
台座付　紙箱入
日本画家 中田文花により親鸞聖人が９歳で得度を決意された凛々しさと可愛らしさを表現。京陶人形師 土田博之が製作。
井筒法衣店
600-8468
京都市下京区堀川通新花屋町角（西本願寺前）
Tel 075-351-1234
0120-075-720
Fax 075-341-7905
オンラインショップを開設しました